

## II 油糧種子

### 1 大豆

(1) 国際的な需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省（USDA）の見通し>

2018/19 年度

**生産量** 前年度比 ↑ 前月比 ↑

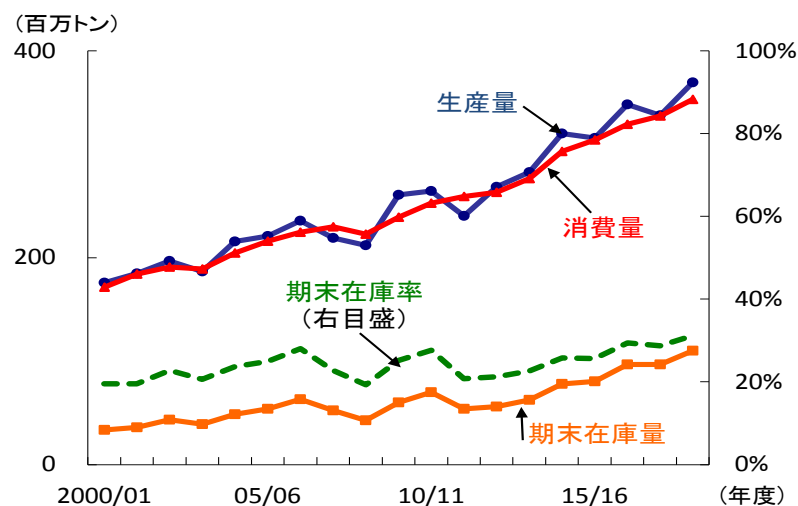
・前月に比べ、カナダの単収増加により、上方修正された。

**消費量** 前年度比 ↑ 前月比 ↓

**輸出量** 前年度比 ↑ 前月比 ↑

・前月に比べ、カナダの輸出量増加により、上方修正された。

**期末在庫量** 前年度比 ↑ 前月比 ↑

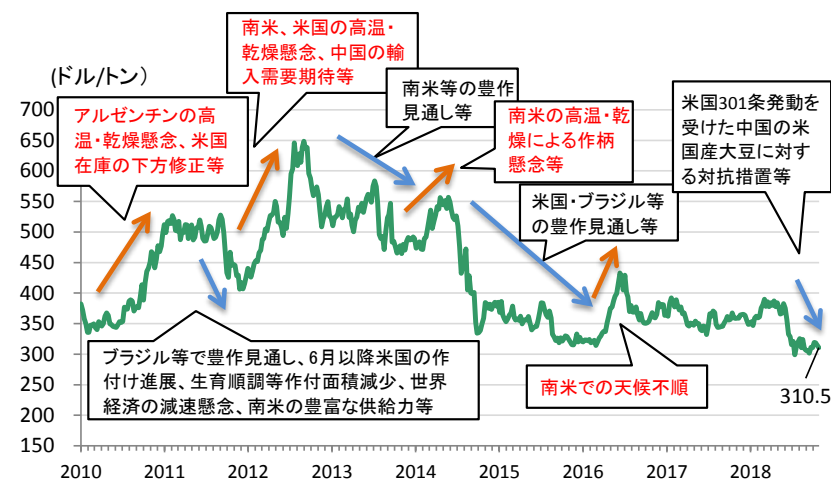


資料：USDA「PS&D」（2018.10.11）をもとに農林水産省で作成。

(単位:百万トン)

年度	2016/17	2017/18 (見込み)	2018/19		
			予測値	前月予測から の変更	対前年度 増減率(%)
生産量	348.1	337.5	369.5	0.2	9.5
消費量	328.9	336.8	353.0	0.0	4.8
うち搾油用	287.2	294.1	308.2	0.0	4.8
輸出量	147.4	153.1	157.4	0.5	2.8
期末在庫量	96.7	96.7	110.0	1.8	13.9
期末在庫率	29.4%	28.7%	31.2%	0.5	2.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」(11 October 2018)



注：シカゴ商品取引所による 2018 年 10 月 26 日までの毎週金曜日の期近価格である。

(2) 国別の大豆の需給動向

< 米国 >

【生育・生産状況】米国農務省（USDA）によると、10月28日時点の、大豆の収穫進捗率は、主要18州では収穫率は72%であり、降雨により過去5年平均の81%と比べると遅れている。10月21日時点の作柄（良いとやや良いを足したもの）については、前年を上回っている。生産量が前月より収穫面積の減少により、下方修正されたものの、127.6百万トンと史上最高の見込みである。

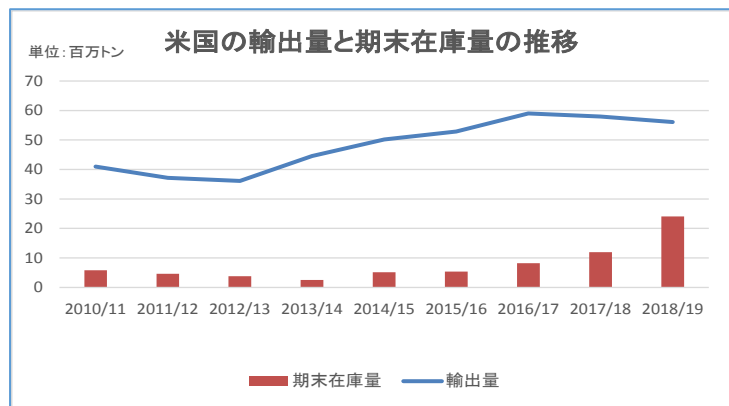
【貿易情報・その他】USDAによると、前年と比べ、史上最高の生産量が見込まれる上、単収が向上し、中国向け輸出量が減少したことから、期末在庫が大幅に増加する見込みである。輸出量は、前年と比べ3.3%減少の見込み。中国向けには減少したものの、他の主産国と比べ競争力のある価格を反映し、EU、メキシコ、エジプト、アルゼンチン、アジア諸国向けには、堅調に推移している。

大豆－米国

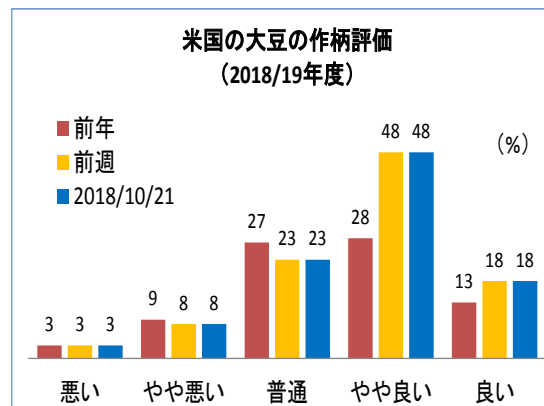
(単位:百万トン)

年 度	2016/17	2017/18 (見込み)	2018/19		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	116.9	120.0	127.6	▲ 0.1	6.3
消費量	55.7	59.0	60.1	-	1.9
うち搾油用	51.7	55.9	56.3	-	0.7
輸 出 量	59.0	58.0	56.1	-	▲ 3.3
輸 入 量	0.6	0.6	0.7	-	15.3
期末在庫量	8.2	11.9	24.1	1.1	102.1
期末在庫率	7.2%	10.2%	20.7%	0.9%	10.5
(参考)					
収穫面積(百万ha)	33.47	36.23	35.75	▲ 0.21	▲ 1.3
単収(t/ha)	3.49	3.31	3.57	0.02	7.9

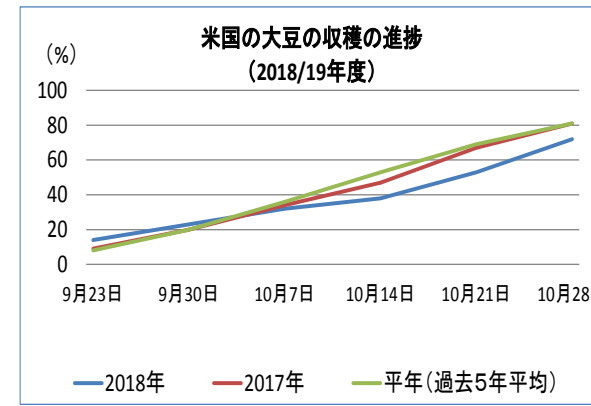
資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「World Agricultural Production」(11 October 2018)



資料：USDA 「Oil Crops outlook」(2018.10.15), PSD



資料：USDA 「Crop progress」(2018.10.21)



資料：USDA 「Crop progress」(2018.10.28)

< ブラジル >

【生育・生産状況】米国農務省（USDA）によると、適切な降雨があり、土壌水分が豊富で、主産地のパラナ州では、10月15日現在、47%の作付け進捗である。また、マツグロソ州では、10月19日までに、50%作付けが終わり、これは過去5年平均を24%上回っている。

【需要動向】輸出価格は、外需の拡大により2018年1月と比べて、レアル建てで値上がりしている。

【貿易情報・その他】輸出量は、9月時点の累計で、前年の一年分の合計67.6百万トンを上回る69.2百万トンに達している。輸出先は、中国が大多数を占めており、アルゼンチン、ヨーロッパ、中近東諸国へも輸出されている。USDAによると、輸出が堅調なことから、2016/17年度と比べ、2017/18年度、2018/19年度は期末在庫率が低下している。

オイルワールド誌によると、中国向け大豆輸出の拡大により、農家の作付け意欲が増し、2018/19年度の作付面積が拡大する見込みである。

大豆—ブラジル

(単位:百万トン)

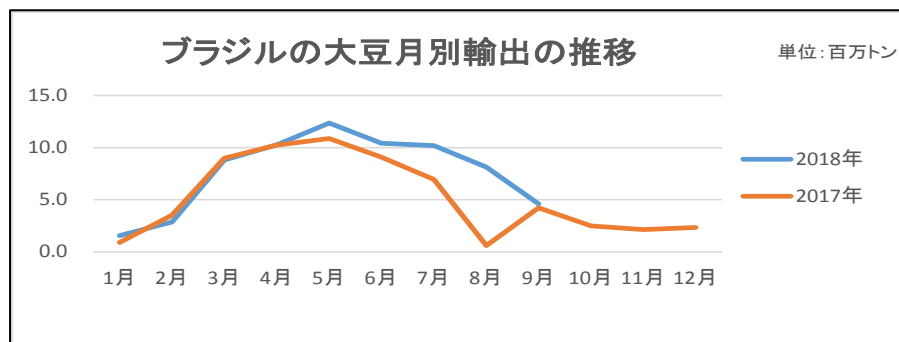
年 度	2016/17	2017/18 (見込み)	2018/19		
			予測値、()はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	114.6	119.8	120.5 (122.0)	-	0.6
消費量	43.8	47.1	46.2 (…)	-	▲1.8
うち搾油用	40.4	43.6	42.7 (44.9)	-	▲2.1
輸 出 量	63.1	76.2	75.0 (73.6)	-	▲1.6
輸 入 量	0.3	0.2	0.4 (0.8)	-	84.2
期末在庫量	26.5	23.2	22.9 (…)	0.2	▲1.5
期末在庫率	24.7%	18.8%	18.9% (…)	0.2	0.0

(参考)

収穫面積(百万ha)	33.90	35.10	37.50 (36.50)	-	6.8
単収(t/ha)	3.38	3.41	3.21 (3.34)	-	▲5.9

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Oilseeds: World Markets and Trade」、  
「World Agricultural Production」(11 October 2018)  
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(21 September 2018)

ブラジルのクロープカレンダー（2018/19年度）（中部から南部）



出典：ブラジル商工サービス省（Ministério da Indústria, Comércio Exterior e Serviços）

2018/19年度	2018年												2019年									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
夏とうもろこし	リオグランデス州等 作付 5.08~5.27 (百万ha)												収穫 26.0~27.35 (百万t)									→ 収穫夏冬計 89.73~91.08
冬とうもろこし	← 作付面積夏冬計 16.61~16.82												作付 11.55									↑ 収穫 63.73
大豆	マツグロソ州、パラナ州等 作付 35.45~36.17												↑ 早熟種大豆収穫後冬とうもろこし播種 収穫 117.05~119.43									

資料：CONAB 2018年10月

< カナダ >

【生育・生産状況】カナダ農務農産食品省（AAFC）によると、2018/19 年度の収穫面積は、昨年より減少しているものの、単収は、2.96 トン/ヘクタールと伸びている。生産量は、米国農務省（USDA）、AAFC とともに前年と比べて 0.2 百万トン減少の 7.5 百万トンの見込みである。主産地における降雪、低温などの天候で、大豆の収穫は遅れている。

【需要状況】オイルワールド誌によると、搾油需要は、大豆、なたねともに 8 月以降増加している。主として、輸出向けとなっている。

【貿易情報・その他】AAFC によると、カナダドル安（対米国ドル）のため、カナダ産大豆は、米国産やブラジル産に競争力を持ち、多様な輸出先を確保できる見通しで、輸出量は前月より上方修正され、史上最高の 5.7 百万トンで、前年度（5.0 百万トン）より増加する見込み。

参考 カナダのなたね

AAFC によると、生産量は 21 百万トンの見込み。過去 5 年平均の 18.9 百万トンを上回るものの、前年の 21.3 百万トンは下回る見込み。これは、収穫面積の減少による。輸出量は、前年度より 5%増加の 11.5 百万トンの見込み。オイルワールド誌によると、その他の主産地である EU、オーストラリアの生産量が伸び悩んでいることから、カナダ産なたねの輸出は増加する見込み。

< アルゼンチン >

【生育・生産状況】ブエノスアイレス穀物取引所によると、10 月から植え付けが始まった 2018/19 年度の大豆栽培面積は、17.9 百万ヘクタールであり、前年から約 20 万ヘクタール増加する見込みである。生産量は、USDA は 57.0 百万トン、オイルワールドでは、52.0 百万トンの見込みである。

【貿易情報・その他】2017/18 年度は干ばつにより減産となったことから、前年と比べて、2018 年のアルゼンチンからの大豆輸出量は少なく、逆に輸入量は増加している。

大豆－カナダ

(単位:百万トン)

年 度	2016/17	2017/18 (見込み)	2018/19		
			予測値、()はAAFC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	6.6	7.7	7.5 (7.5)	0.5	▲ 2.8
消費量	2.5	2.9	2.6 (2.4)	-	▲ 10.1
うち搾油用	1.9	1.9	2.0 (…)	-	3.3
輸 出 量	4.6	4.9	5.5 (5.7)	0.5	11.6
輸 入 量	0.5	0.5	0.6 (0.4)	-	19.1
期末在庫量	0.3	0.6	0.6 (0.5)	-	▲ 7.1
期末在庫率	3.9%	8.1%	7.2% (5.6%)	▲ 0.5	▲ 0.8
(参考)					
収穫面積(百万ha)	2.23	2.94	2.55 (2.54)	-	▲ 13.3
単収(t/ha)	2.96	2.63	2.94 (2.96)	0.19	11.8

資料：USDA「Oilseeds: World Markets and Trade」、

「World Agricultural Production」、「PS&D」(11 October 2018)

AAFC「Outlook for Principal Field Crops」(19 October 2018)

大豆－アルゼンチン

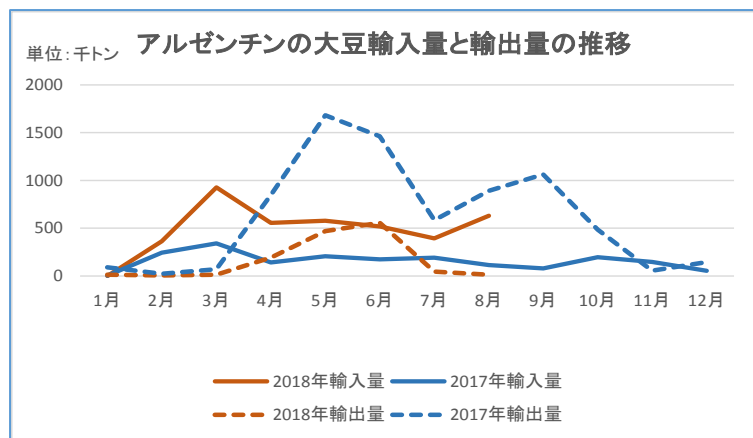
(単位:百万トン)

年 度	2016/17	2017/18 (見込み)	2018/19		
			予測値、()はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	55.0	37.8	57.0 (52.0)	-	50.8
消費量	47.8	42.2	47.9 (…)	-	13.6
うち搾油用	43.3	37.5	43.0 (24.3)	-	14.7
輸 出 量	7.0	2.1	8.0 (5.5)	-	281.0
輸 入 量	1.7	4.0	2.2 (3.3)	-	▲ 44.5
期末在庫量	35.5	33.0	36.3 (31.3)	0.3	10.0
期末在庫率	64.6%	74.4%	64.9% (…)	0.01	▲ 9.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	17.34	16.30	19.00 (17.50)	-	16.6
単収(t/ha)	3.17	2.32	3.00 (2.97)	-	29.3

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

「World Agricultural Production」(11 October 2018)

OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(22 September 2018)



< 中国 >

【生産・生育状況】中国気象台によると、主産地の気象条件が良好であり、既に収穫に入っている。米国農務省（USDA）によると、生産量は前月と変わらず 15 百万トンの見込み。

【需要状況】オイルワールド誌によると、2018/19 年度（10～9 月）の大豆搾油量は、食用油の輸入増加による搾油需要の減少から、5 百万トン以上減少する見込みとのこと。

【貿易情報・その他】報道によると、中国税関が 10 月 12 日に発表した 9 月分の通関統計では、輸入量は 8.01 百万トンで前年同期の 8.11 百万トンを下回っている。

オイルワールド誌によると、2017/18 年度、中国は 94 百万トンの輸入量の見込み。今年度についても同様に輸入したとすると、米国以外の大豆生産国からの輸入に限ると、国内の需要を満たすことはできないであろうと予測している。

大豆—中国

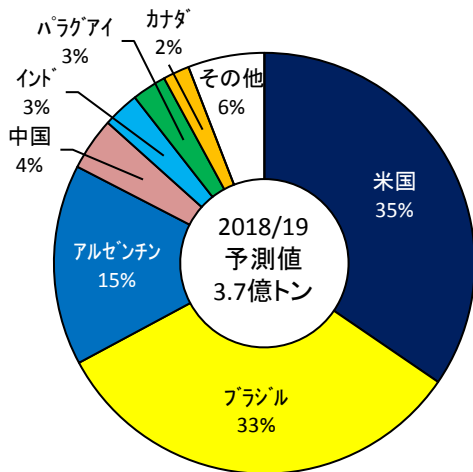
(単位:百万トン)

年 度	2016/17	2017/18 (見込み)	2018/19			
			予測値、()はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生産量	12.9	14.2	15.0 (14.8)	-	5.6	
消費量	102.8	106.0	110.6 (…)	-	4.3	
うち搾油用	88.0	90.0	93.5 (84.0)	-	3.9	
輸 出 量	0.11	0.14	0.10 (0.1)	-	▲ 28.6	
輸 入 量	93.5	94.0	94.0 (93.0)	-	-	
期末在庫量	20.4	22.5	20.8 (14.9)	-	▲ 7.6	
期末在庫率	19.8%	21.2%	18.8% (…)	-	▲ 2.4	
(参考)						
収穫面積(百万ha)	7.20	7.85	8.40 (7.40)	-	7.0	
単収(t/ha)	1.79	1.81	1.79 (2.00)	-	▲ 1.1	

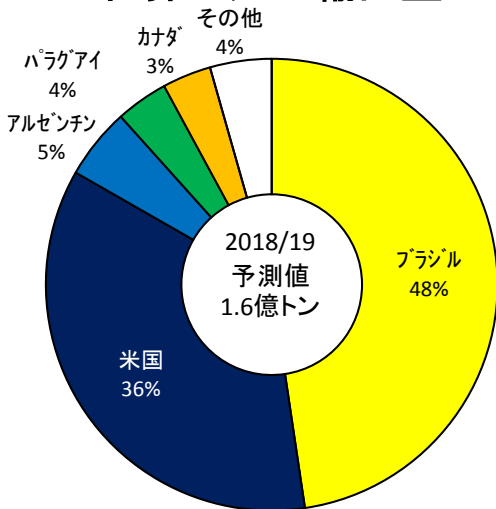
資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「World Agricultural Production」(11 October 2018)  
OIL WORLD 「OIL WORLD Monthly」(21 September 2018)

# 資料 世界の大豆生産量と輸出量/日本の輸入量(2018年10月現在)

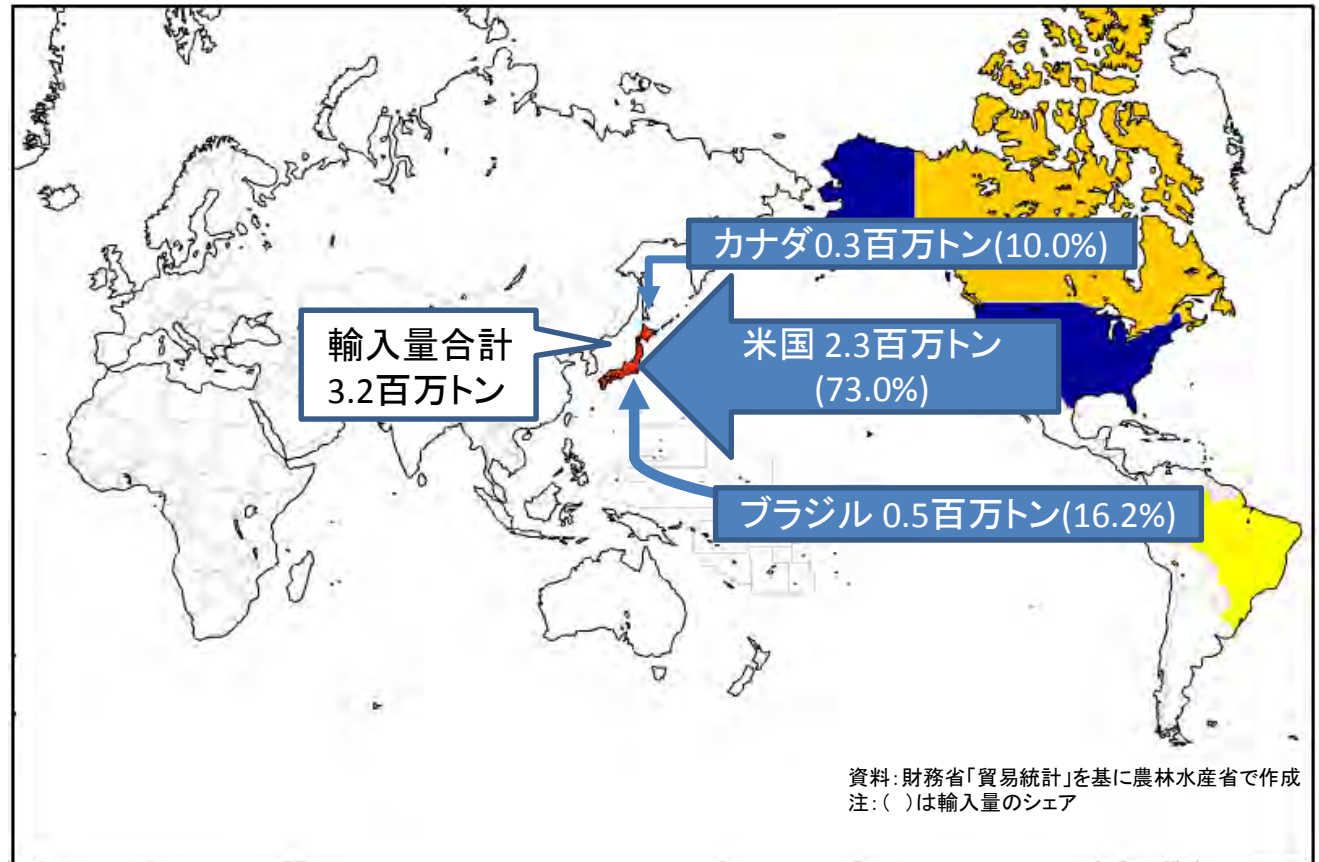
## 世界の大豆生産量



## 世界の大豆輸出量

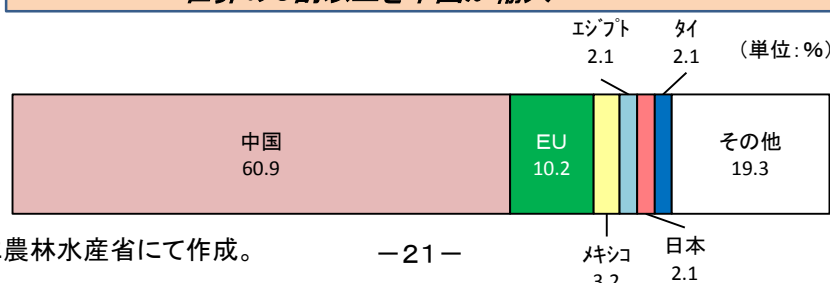


## 日本の国別大豆輸入量(2017年)



### <参考>世界の大豆輸入国 (2018/19)

—世界の6割以上を中国が輸入—



### 日本の大豆生産量

2015年:0.24百万トン

2016年:0.24百万トン

2017年:0.25百万トン

(資料:農林水産統計)

(参考)本レポートに使用されている各国の穀物年度について (2018/19年度)

	小麦	とうもろこし	米	大豆	なたね
米国	18年6月～19年5月	18年9月～19年8月	18年8月～19年7月	18年9月～19年8月	
カナダ	18年8月～19年7月			18年8月～19年7月	18年8月～19年7月
豪州	18年10月～19年9月				
EU	18年7月～19年6月				
中国	18年7月～19年6月	18年10月～19年9月	18年7月～19年6月	18年10月～19年9月	
ロシア	18年7月～19年6月				
ブラジル		19年3月～20年2月	19年4月～20年3月	18年10月～19年9月	
アルゼンチン		19年3月～20年2月		18年10月～19年9月	
タイ			19年1月～12月		
インド			18年10月～19年9月		
ベトナム			19年1月～12月		

注 市場年度は、おおむね各国で作物が収穫される時期を期首として各国ごとに設定されているため、国、作物によって年度の開始月は異なります。

例えば、2018/19年度は、米国の小麦では2018年6月～2019年5月、ブラジルのとうもろこしでは2019年3月～2020年2月です。

なお、各国別、作物別の市場年度は、米国農務省によります。

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/downloads?tabName=default>

## 【利用上の注意】

海外食料需給レポートは、在外公館からの情報、農林水産省が独自に各国の現地コンサルタント等を通じて入手した情報、公的機関（各国政府機関、FAO、IGC等）の公表資料、Oil World等民間の調査会社から購入した資料、その他、商社情報や新聞情報等から入手した情報を農林水産省の担当者において検証、整理、分析したものです。

- **海外食料需給レポートで使用している統計数値は、主に米国農務省が2018年10月下旬までに発表した情報を引用しています。**

さらに詳細なデータ等が必要な場合は、米国農務省のホームページを参照願います。

[http://www.usda.gov/wps/portal/usda/usdahome?navid=AGENCY\\_REPORTS](http://www.usda.gov/wps/portal/usda/usdahome?navid=AGENCY_REPORTS)

### 主な参考資料

「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

<http://www.usda.gov/oce/commodity/wasde/>

「Grain : World Markets and Trade」

<https://www.fas.usda.gov/data/grain-world-markets-and-trade>

「Oilseeds : World Markets and Trade」

<https://www.fas.usda.gov/data/oilseeds-world-markets-and-trade>

「World Agricultural Production」

<https://www.fas.usda.gov/data/world-agricultural-production>

「PS&D」

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/advQuery>

など

- **データは予測値であり、毎月各種データの更新を受けて改訂されますので留意してください。**
- 資料原典で表示されるブッシェル及びエーカー等の単位は、それぞれトン及びヘクタールに換算して記載しています。
- 資料原典において現地通貨で表示される金額を円換算するにあたっては、日本銀行国際局・財務大臣公示の基準外国為替相場及び裁定外国為替相場等の換算レートを用いています。
- 市場年度は、おおむね各国で作物が収穫される時期を期首として各国ごとに設定されているため、国、作物によって年度の開始月は異なります。  
なお、各国別、作物別の市場年度は、米国農務省によります。



<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/downloads>

(注：同サイトの「Reference Data」を参照)

- 期末在庫率の対前年度増減率の欄は、前年度とのポイント差。なお、表示単位以下の数値により計算しているため、表上では合わない場合があります。
- 本資料の引用等につきましては、出所（農林水産省発行「海外食料需給レポート」）を併記願います。
- 本文中の略称については以下の通りです。

FAO	国連食糧農業機関
IGC	国際穀物理事会
USDA	米国農務省
AAFC	カナダ農務農産食品省
ABARES	豪州農業資源経済科学局
CONAB	ブラジル食料供給公社
JAXA	宇宙航空研究開発機構
ASF	アフリカ豚コレラ

なお、生産見通し等の予測は、各国際機関及び各国の農業機関によりそれぞれの分析手法に基づき行われるため、機関によってデータの相違がある場合があります。また、各国の農業機関の公表を受けて、国際機関の見通しが改訂される場合があります。

- 本レポートの電子版は下記アドレスでご覧になれます。

農林水産省 海外食料需給レポート

[http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j\\_rep/index.html](http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_rep/index.html)

- 本資料に関するご質問、ご意見等は、下記までお願いします。

<b>連絡先</b> <b>農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室</b> <b>TEL：03-3502-8111 (内線 3805)</b>
--